

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子供の育成」



遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ~なかよく 明るく つよく正しく~

縦割り班顔合わせ会

本校では、今年度のめざす児童像の一つである「自他を大切にする子」の育成に向けて、今年度も縦割り班掃除に取り組んでいます。学年をこえて協力し合いながら活動することで、思いやりの心や相手を尊重する態度を育てていきたいと考えています。

先日、そのスタートとなる縦割り班の顔合わせ会を行いました。各班では、最初に自己紹介をして名前や好きなことなどを伝え合い、その後、「だるまさんがころんだ」や「ばくだんゲーム」、「ハンカチおとし」などの遊びを楽しみました。初めは少し緊張した様子も見られましたが、遊びを通して少しずつ笑顔が増え、学年をこえた交流が広がっていました。

特に6年生は、下学年の児童に優しく声をかけたり、遊びの説明を分かりやすく行ったりするなど、班の中心として温かくリードする姿が見られました。上学年の思いやりある行動は、下学年の安心感につながるとともに、「自分も高学年になったらこんなふうになりたい」という憧れの気持ちを育ててくれるものと思います。



避難訓練

5月12日(火)、今年度第1回目となる避難訓練を実施しました。今回は、校内で火災が発生したことを想定した訓練で、全校児童が真剣な態度で取り組むことができました。放

送や先生の指示をよく聞き、落ち着いて素早く避難する姿が見られ、昨年度よりも短い時間で全員が避難を完了することができました。

避難後の全体講話では、火災の際に特に気を付けなければならない「けむり」のこわさについて話をしました。火事では、炎だけでなく、有毒なけむりを吸い込むことが大変危険です。姿勢を低くし、口や鼻をハンカチなどでおさえながら避難することの大切さを確認しました。

また、真庭消防署の方からは、避難するときの大切な約束である「おはしも」（おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない）を守ることや、火遊びは絶対にしないことなどについて分かりやすく教えていただきました。児童たちも真剣な表情で話を聞いていました。

さらに、消火器の使い方についても教えていただき、6年生の代表児童が練習用消火器を使って模擬の火元に向かって放水する体験を行いました。代表児童は、消防署の方の説明をよく聞きながら落ち着いて操作しました。



地域ボランティア顔合わせ会

5月11日（月）、今年度お世話になる地域ボランティアの皆様と教職員との顔合わせ会を行いました。毎年多くの地域の皆様に学校教育活動を支えていただいています。

今年度も早速、1年生の4月当初の下校見守り活動をはじめ、参観日の託児、学級園の耕作作業、3年生の書写指導など、さまざまな場面でご協力をいただいています。子供たちが安心して学校生活を送ることができるのも、地域の皆様の温かい支えがあってこそです。心より感謝申し上げます。

また、今後も生活科や総合的な学習の時間での地域探検、家庭科のミシン学習など、多くの教育活動で地域ボランティアの皆様にお力添えをいただく予定です。地域の方とのふれあいや学びを通して、子供たちは地域への親しみや感謝の気持ちを育てていきます。

なお、学校では随時ボランティアを募集しています。

「子供たちのためにできることをしてみたい」という思いをお持ちの方がおられましたら、ぜひ学校までご連絡ください。地域の皆様のお力をお借りしながら、子供たちのよりよい成長につなげていきたいと考えています。

